

令和 7 年中における特殊詐欺等の情勢について

※ 数値は確定値で、各数値の増減は前年同期比を示す。

【 特殊詐欺の特徴 】

- ・ 特殊詐欺の認知件数と被害額ともに、統計を開始した平成 16 年以降で過去最多
- ・ 警察官等をかたり捜査名目で現金等をだまし取る手口の認知件数と被害額が急増
- ・ インターネットバンキング利用による被害が急増
- ・ 現役世代の被害者の割合が急増
- ・ 認知件数・相談件数は増加しているが、自己看破も増加
- ・ 検挙件数・検挙人員の増加

【 SNS 型投資・ロマンス詐欺の特徴 】

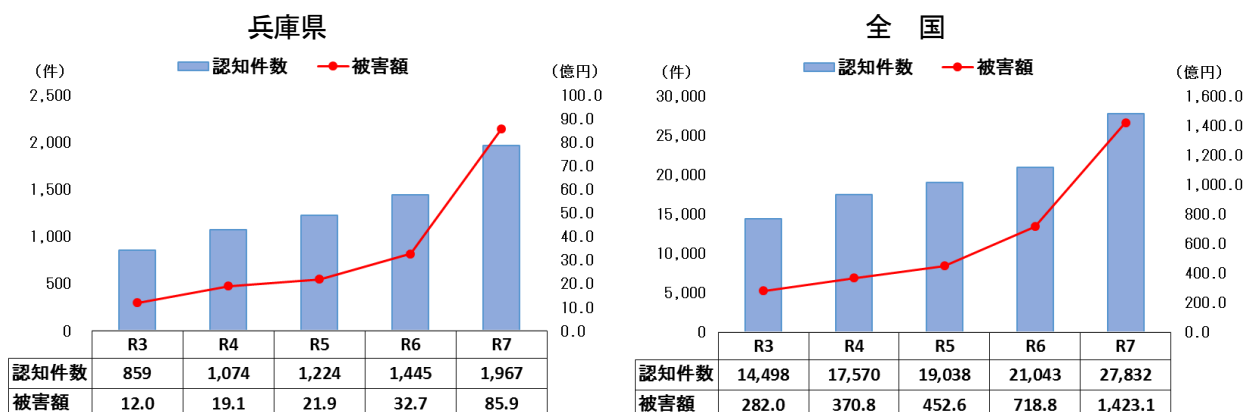
- ・ SNS 型投資・ロマンス詐欺の認知件数と被害額の急増
- ・ 特に、SNS 型投資詐欺の増加が顕著
- ・ 様々な SNS で接触後、LINE に誘導される割合が大半を占める
- ・ 検挙件数・検挙人員の増加

1 特殊詐欺の認知状況

(1) 情勢全般

- 令和 7 年中における特殊詐欺の認知件数は 1,967 件（+522 件）、被害額は約 85.9 億円（+約 53.2 億円）
- 1 件当たりの被害額は約 437 万円で前年同期と比較すると約 210 万円増加
- 手口別の認知件数と被害額では、オレオレ詐欺が大幅に増加
- 交付形態別の被害割合をみると、特にインターネットバンキング利用による被害額が大幅に増加

図表 1 特殊詐欺の認知件数・被害額の推移（全国との比較）



認知件数

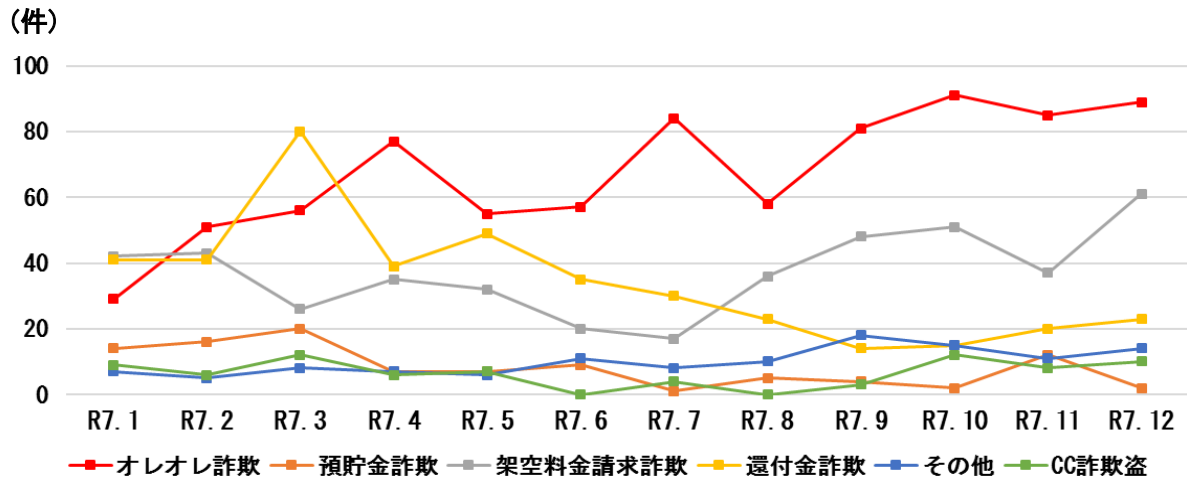
	R3	R4	R5	R6	R7	増減	増減率
兵庫県	859	1,074	1,224	1,445	1,967	522	36.1%
全国	14,498	17,570	19,038	21,043	27,832	6,789	32.3%
割合	5.9%	6.1%	6.4%	6.9%	7.1%		

被害額

(単位：億円)

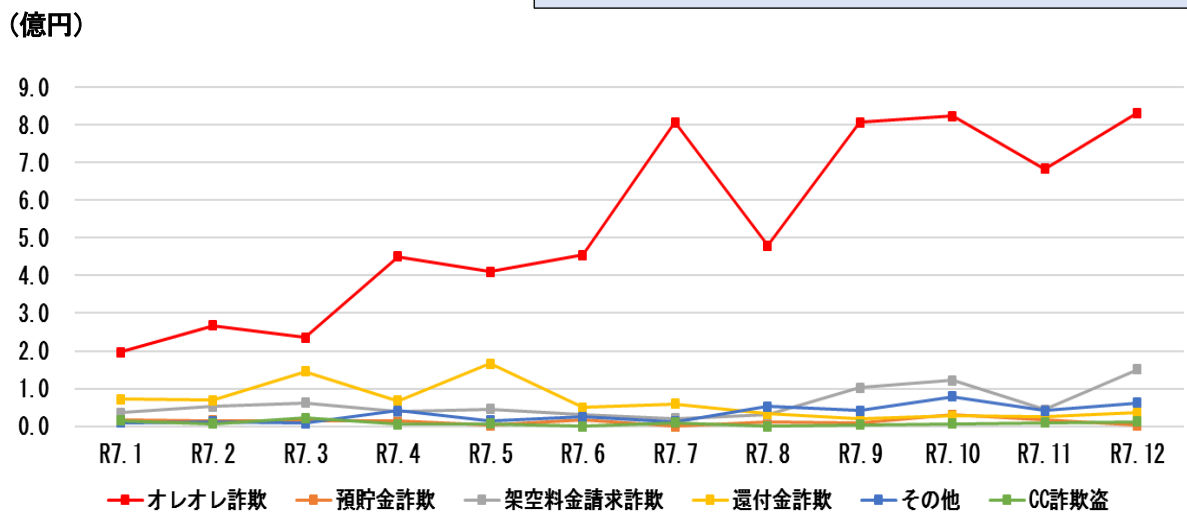
	R3	R4	R5	R6	R7	増減	増減率
兵庫県	12.0	19.1	21.9	32.7	85.9	53.2	162.4%
全国	282.0	370.8	452.6	718.8	1,423.1	704.3	98.0%
割合	4.2%	5.1%	4.8%	4.6%	6.0%		

図表2 認知件数の推移（類型別）



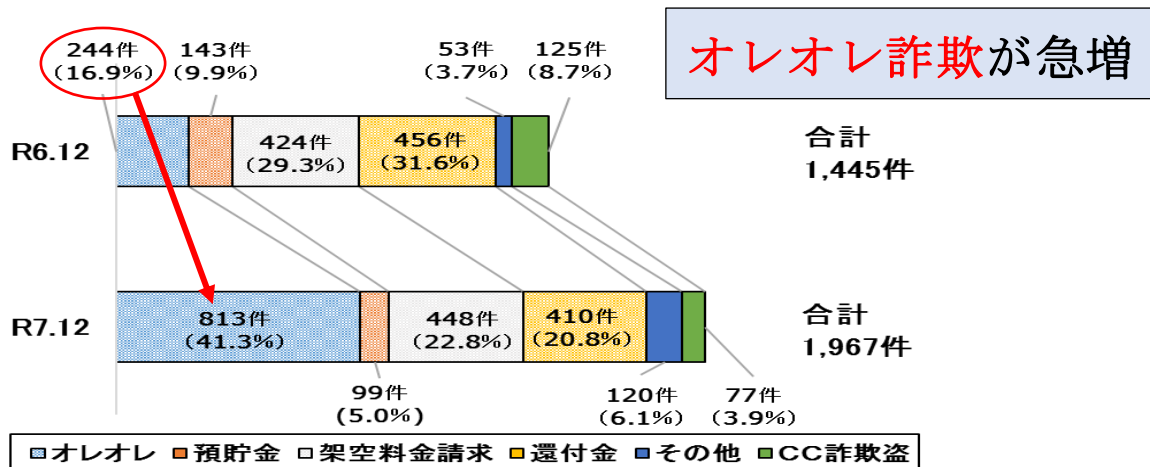
※ CC詐欺盗・・・キャッシュカード詐欺盗

図表3 被害額の推移（類型別）

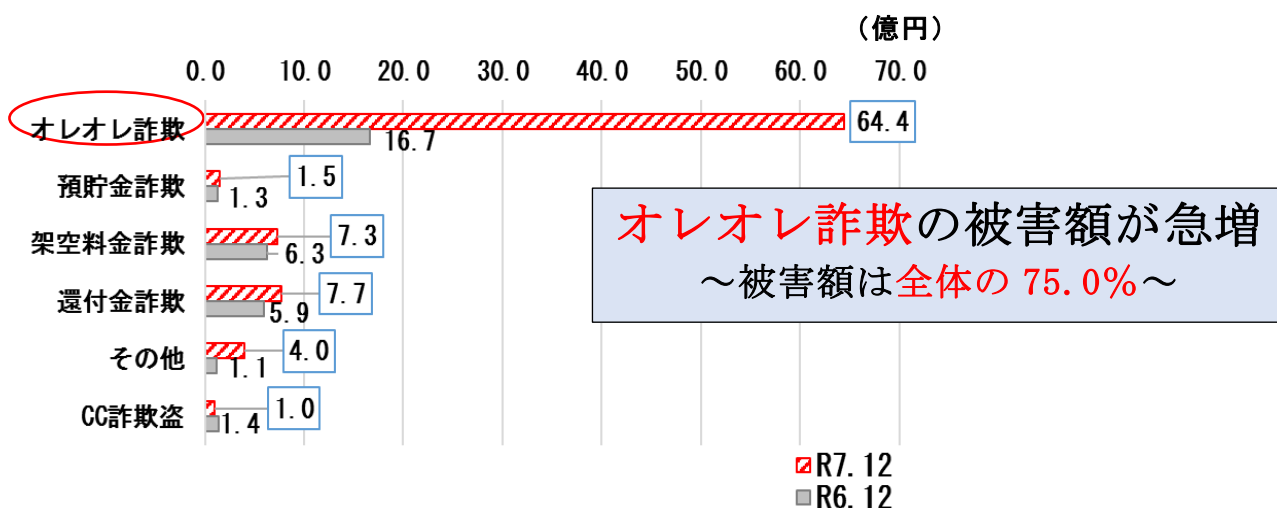


オレオレ詐欺の認知件数・被害額が高水準で推移

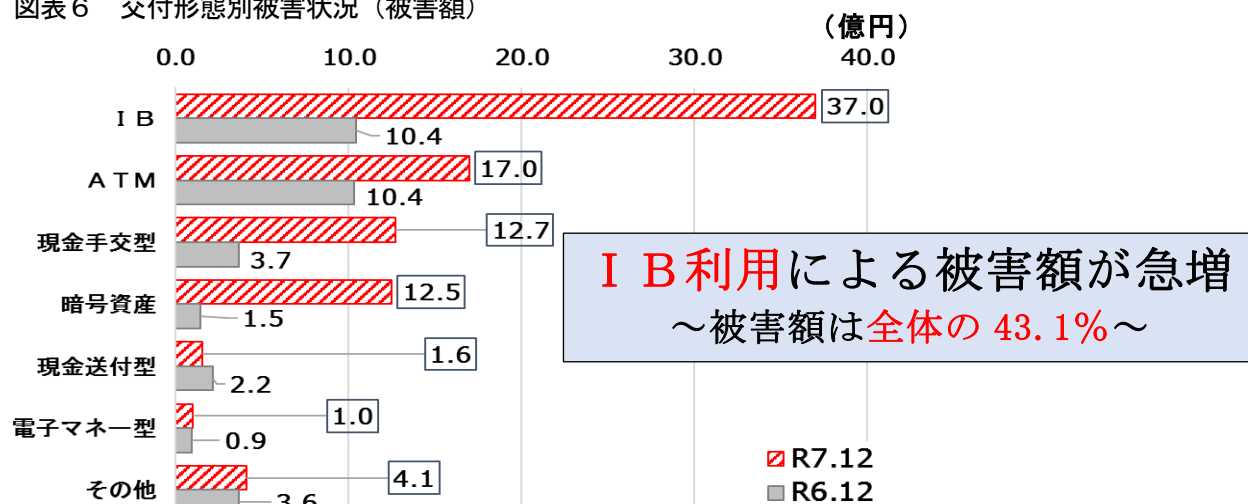
図表4 手口別被害状況（認知件数）



図表5 手口別被害状況（被害額）

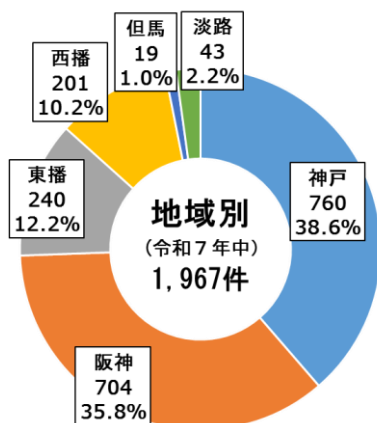


図表6 交付形態別被害状況（被害額）



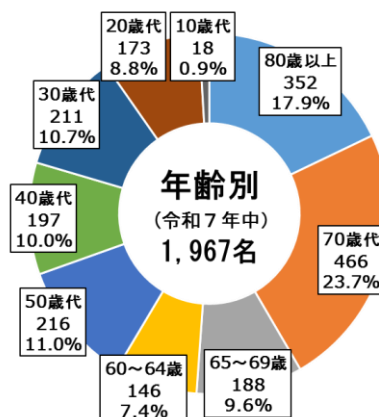
※ I B・・・インターネットバンキング

図表 7 地域別の割合



神戸・阪神地域が**全体の 74.4%**

図表 8 年齢別の割合

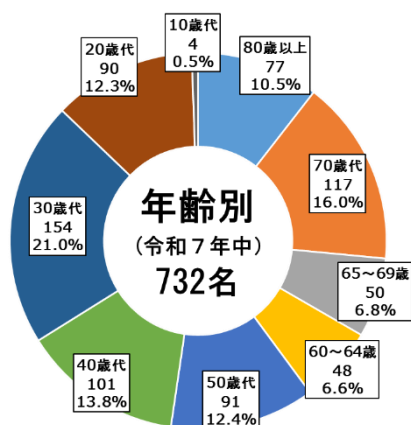


高齢者（65歳以上）が**全体の 51.1%**

(2) 警察官等をかたり捜査名目で現金等をだまし取る手口

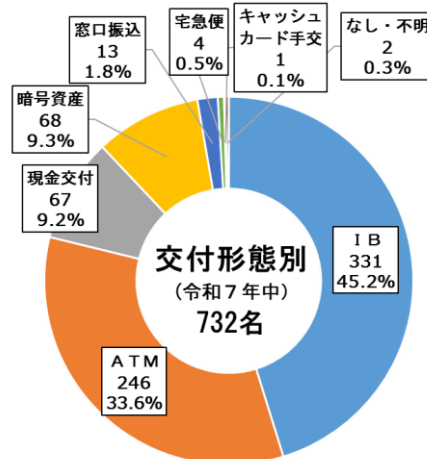
- 令和7年中における警察官等をかたり捜査名目で現金等をだまし取る手口の認知件数は 732 件、被害額は約 59.4 億円を占める。
- 1 件当たりの被害額は約 811 万円
- 交付形態別の被害割合をみると、特にインターネットバンキング利用による被害額が 47.9% と高い割合を占める。

図表 9 警察官等をかたり捜査名目で現金等をだまし取る手口における被害者の年齢別割合



現役世代（20～59歳）が**全体の 66.1%**

図表 10 警察官等をかたり捜査名目で現金等をだまし取る手口における交付形態別割合



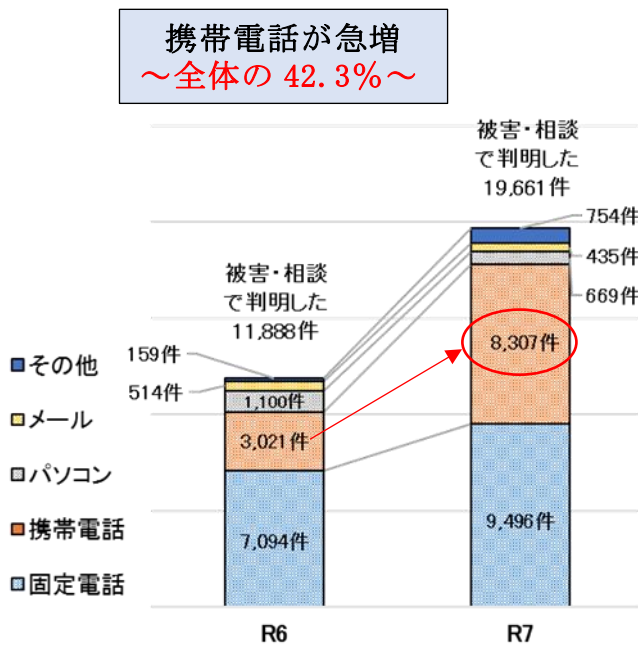
IB利用が**全体の 45.2%**

※ IB・・・インターネットバンキング

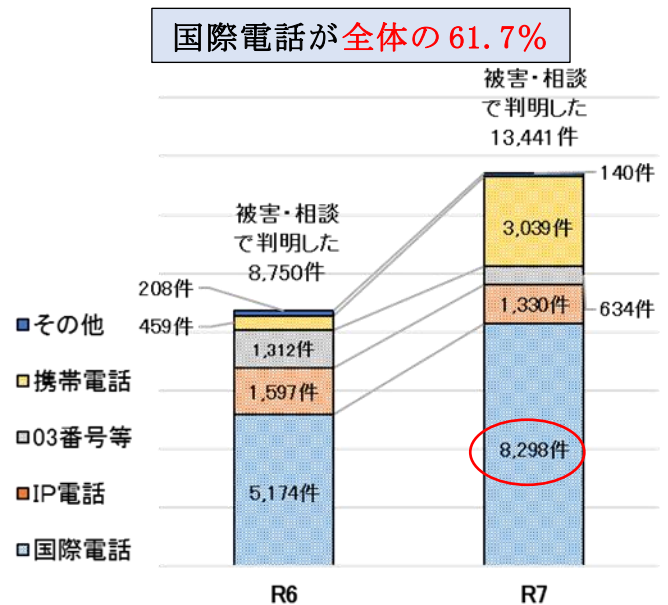
(3) 犯行ツール

- 犯人からのアプローチ状況の割合をみると、固定電話が 48.3%、携帯電話が 42.3% を占める。
- 被害・相談で判明した犯行利用電話番号の種別をみると、国際電話が 61.7%、携帯電話が 22.6% を占める。

図表 11 犯人からのアプローチ内訳



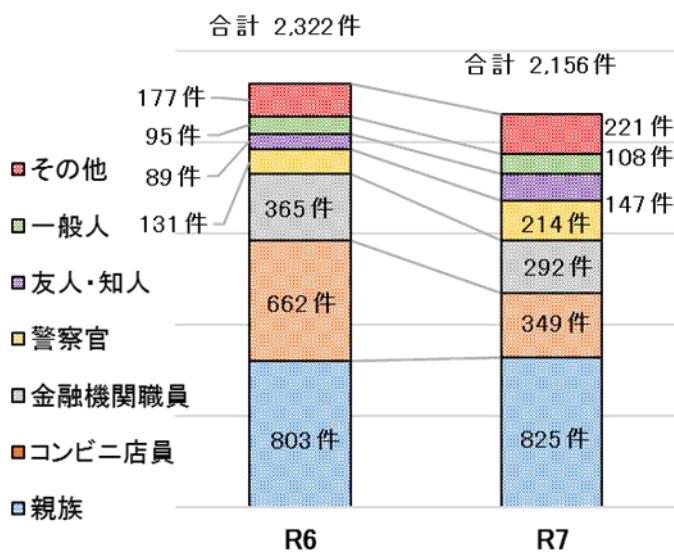
図表 12 被害・相談で判明した
犯行利用電話番号種別内訳



(4) 水際阻止状況

令和 7 年中において、親族などの声掛けにより、被害を水際で阻止した件数は 2,156 件（－166 件）

図表 13 水際阻止状況



**阻止件数
全国第 1 位**

(5) 相談件数

- 令和7年中では17,694件（+7,251件）受理
- 自身で看破した件数（相談件数－水際阻止件数）の割合が増加

図表 14 相談の推移

	R3	R4	R5	R6	R7	増減	増減率
相 談 件 数	3,976	5,028	7,633	10,443	17,694	7,251	69.4%

(6) 検挙状況

令和7年中では、217件88名を検挙

検挙件数・人員の増加

図表 15 特殊詐欺被疑者検挙人員の推移

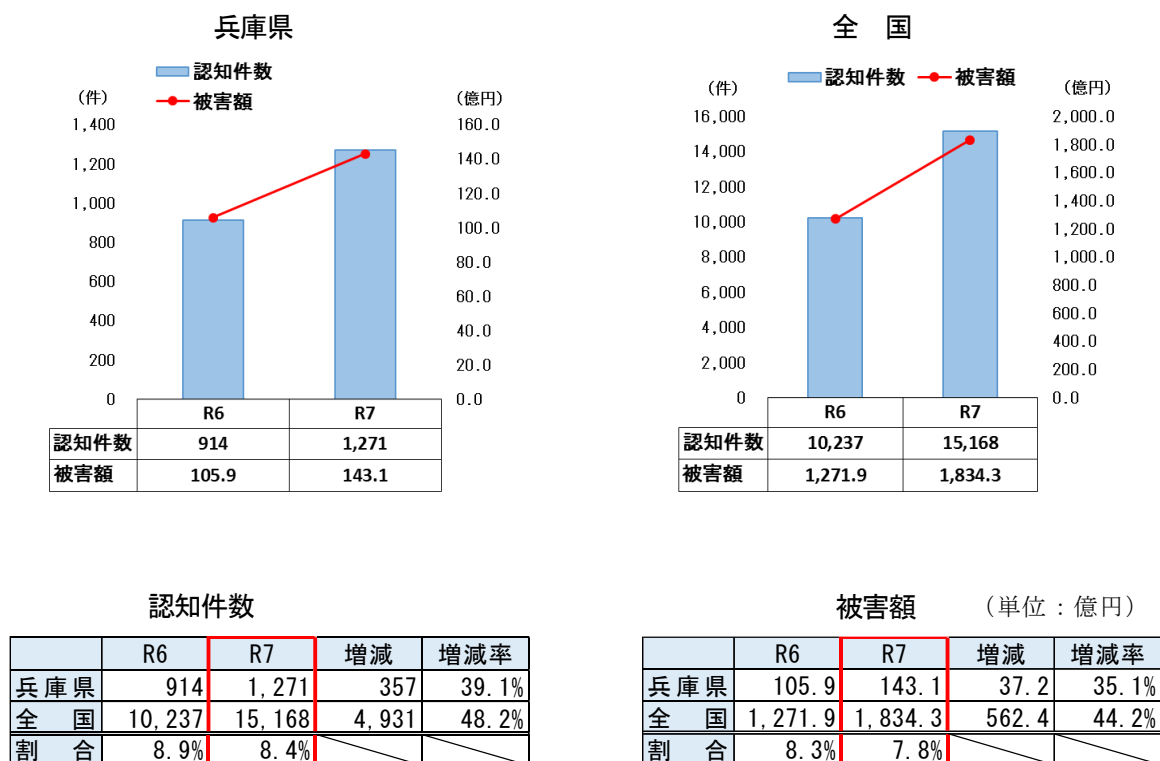
	R3	R4	R5	R6	R7	増減	増減率
検 挙 件 数	211	148	192	207	217	10	4.8%
検 挙 人 員	80	48	77	64	88	24	37.5%

2 SNS型投資・ロマンス詐欺の認知状況

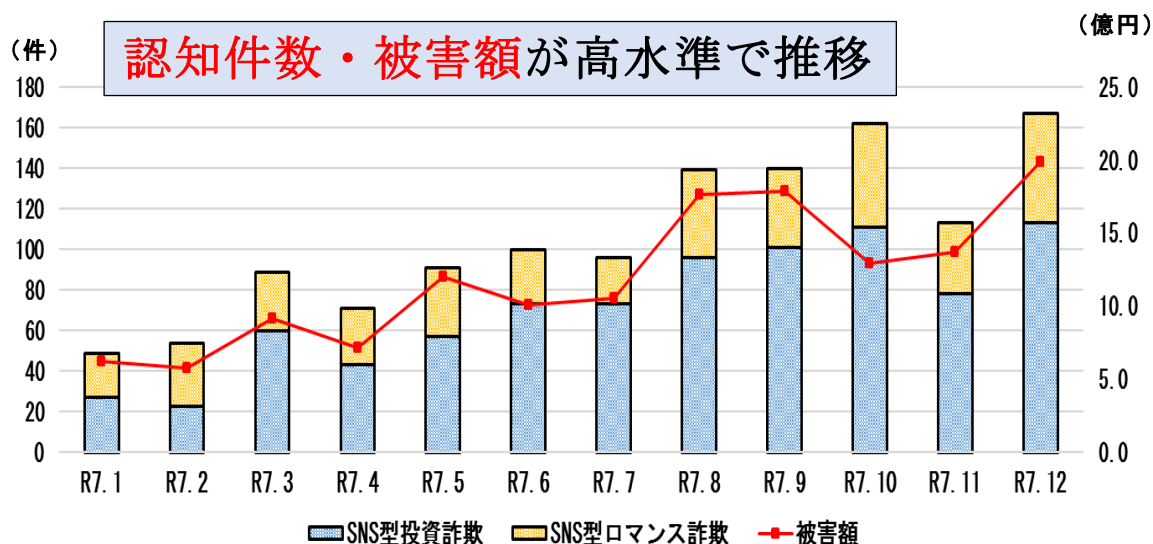
(1) 情勢全般

- 令和7年中におけるSNS型投資・ロマンス詐欺の認知件数は1,271件（+357件）、被害額は約143.1億円（+37.2億円）
- 1件当たりの被害額は約1,126万円（-33万円）
- 手口別の認知件数と被害額では、SNS型投資詐欺が大幅に増加
- 交付形態別の被害割合をみると、特にインターネットバンキング利用による被害額が大幅に増加

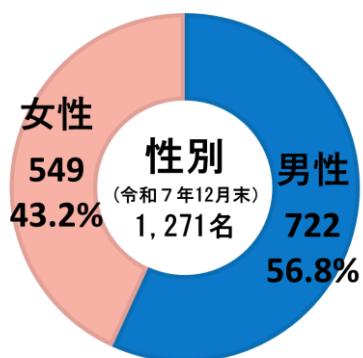
図表16 SNS型投資・ロマンス詐欺の認知件数・被害額の推移（全国との比較）



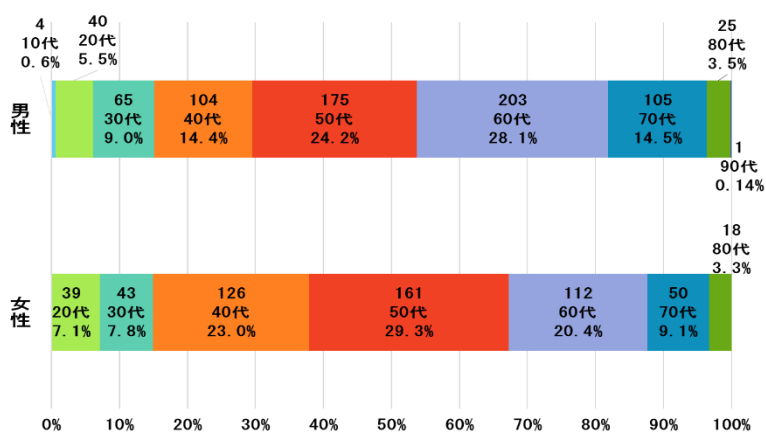
図表17 SNS型投資・ロマンス詐欺の認知件数・被害額の月別推移



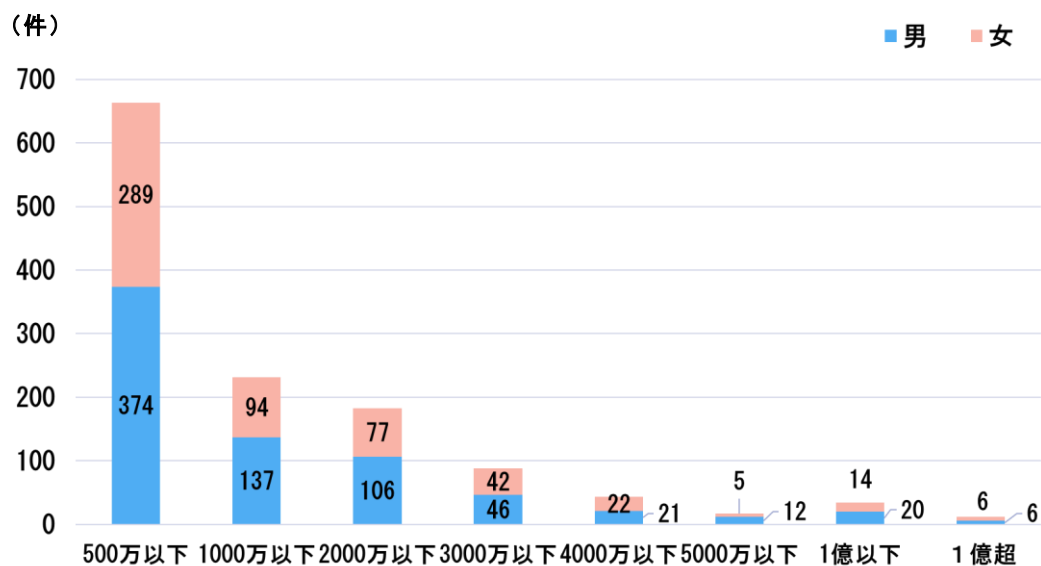
図表 18 性別の割合



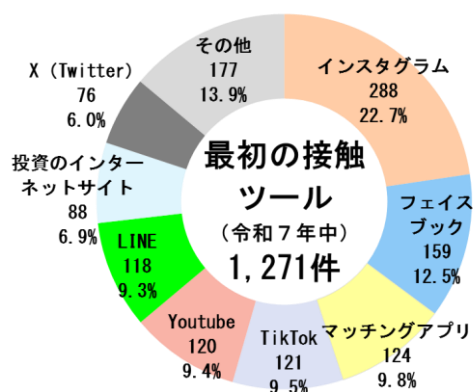
図表 19 年代別の割合



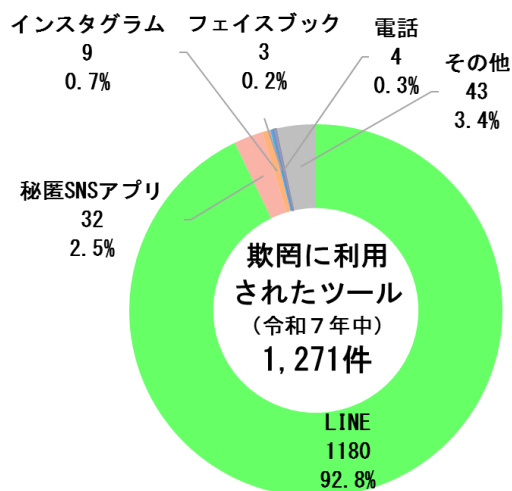
図表 20 被害額の分布



図表 21 最初の接触ツール

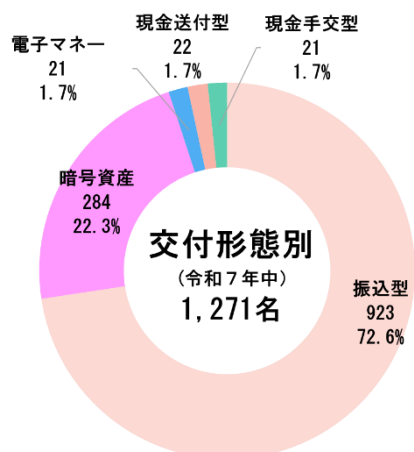


図表 22 欺罔に利用されたツール

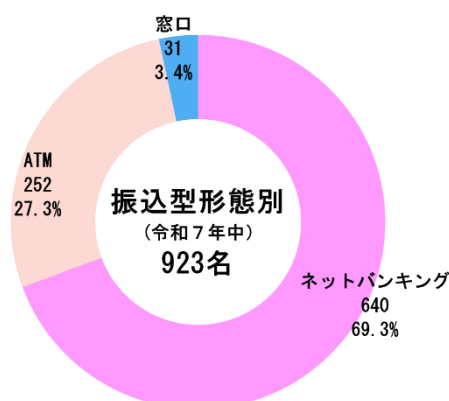


LINEに誘導する傾向

図表 23 交付形態の割合



図表 24 振込型形態の割合



振込型が7割を占める

(2) 検挙状況

令和7年中の検挙状況は、検挙件数33件、検挙人員18名

図表 25 検挙状況（SNS型投資・ロマンス詐欺の検挙件数・検挙人員）

		R6	R7	増減	増減率
SNS型投資詐欺	検 挙 件 数	5	12	7	140.0%
	検 挙 人 員	3	6	3	100.0%
SNS型ロマンス詐欺	検 挙 件 数	19	21	2	10.5%
	検 挙 人 員	5	12	7	140.0%
総 計	検 挙 件 数	24	33	9	37.5%
	検 挙 人 員	8	18	10	125.0%